

第二十六回 帝國議會 衆議院 漁業法改正法律案委員會議錄(速記)第一回

(一五二)

明治四十三年二月十八日午前十時五十九分開議  
會議出席委員左ノ如シ

板東 勘五郎君	齋藤 二郎君	藻寄 鉄五郎君
東 武君	河上 英君	三浦 覚一君
武満 義雄君	細川 義昌君	柏谷 義三君
上埜 安太郎君	庄野 金十郎君	平島 松尾君
小山内 鐵彌君	仙太郎君	竹内 正志君
齋藤 巳三郎君	小橋 榮太郎君	佐野 春五君
高木 正年君	森 肇君	

出席國務大臣左ノ如シ  
農商務大臣 男爵大浦 兼武君

出席政府委員左ノ如シ  
農商務次官 押川 則吉君 農商務省水產局長 道家 齊君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
漁業法改正法律案

○委員長(板東勘五郎君) ソレデハ漁業法改正法律案ノ委員會ヲ開キマス——大體ニ付テノ御説明がゴザイマスカ

○三浦覺一君 今度改正ニナリマシタ主モナル簡條ト、大體ニ付テノ説明ヲ願ヒマス  
○政府委員(道家齊君) 唯今議題トナシテ居リマス此今回改正致シマシタ漁業法案

ノ大要ヲ先以テ申上ゲタイト思イマス、此漁業法ハ御承知デモゴザイマス通り、明治三十四年ニ發布セラレマシテ、三十五年七月ヨリ施行ニナリマシタノアリマス、爾來此

漁業モ追々發達致シテ參リマシテ、時勢ノ必要上又實驗上ニ於キマシテイロ——不備ナ點モゴザイマシテ、夫等ノ必要ニ迫リマシテ、此改正案ヲ提出シタ次第ゴザイマス

ルガ、其重要ナル要項ハ第一ハ漁業法ノ適用ノ區域ヲ明確ニスルト云フコトガ一ツゴザイマシテ、實際上ニ於キマシテ適用上往々統一ヲ缺クコトガアルノゴザイマス、故ニ適用セズトゴザイマス、ソコテ此私有水面ト公有水面トノ區別ニ依シテ、法ノ適用ヲ定メテ居ルノアリマスガ、此水面ノ公私ト云フコトノ區別ニ付キマシテハ、イロ——説ガゴ

テ此區別ヲ立テタイト云フノガ趣意デゴザイマス、即チ公共ノ用ニ供スルト否トニ依テ本法ノ適用ヲ定メルコトニ致シマシテ、水面ノ區別ヲ公私ニ依テ區別ヲスルコトヲ避ケマシテ、ソレ事實ニ依シテ且ツ其事實モ比較的明瞭ナリト思トコロノ標準ヲ以チマシテ、サウシテ此區別ヲ立テタイト云フノガ趣意デゴザイマス、即チ公共ノ用ニ供スルト否トニ依テ本法ノ適用ヲ定メルコトニ致シマシテ、併ナガラ公共ノ用ニ供シマセヌ、水面モ無論ゴザイマスノデ、其同ジ水面デゴザイマシテモ、公共ノ用ニ供シテ居ル水面ト一體ヲナシテ居ル其私有水面デゴザイマシテモ、公有水面ト連接シテ居ル場合ガアル、所謂俗ニ申

シマスル川流レトカ、或ハ海流レトカ云フヤウナコトニナシテ流域ノ變遷若クハ海底ノ變遷ニ依シテ地處ニ變化ヲ來シタガタメニ、同ジ私有水面デアリマシテモ、ソレガタメニ公有

水面ト連接フシテ、殆ド其區域ヲ分ケルコトガ出來ナイト云フ状態ナ處ガアリマスカラ、サウ云フ場合ノ處ニ於キマシテハ、ヤハリ是ハ漁業法ヲ適用スルト云フコトガ至當アラ

ウト云フ考ヲ以チマシテ、ソレデ公共ノ用ニ供シテ居リマセヌ水面デモ、公共ノ用ニ供シテ居ル水面ト一ツニナッテ居ル場合ニ於キマシテハ、本法ヲ適用スルト云フコトニ致シタノデゴザイマス、併ナガラ一度此法ヲ適用致シマシタ以上ハ假令其水面ノ敷地ガ私有デアリ

マシテモ任意ニ此法律ノ適用ナリ、或ハ範圍ヲ改廢スルト云フコトハ穩カデナ、故ニ第三條ノ如キ規定ヲ設ケマシテ其場合ニハ行政官廳ノ認可ヲ得テ、或ハ廢スル或ハ制限スルト云フコトガ出來ルト云フコトニ致シマシタノデゴザイマス、ソレカラ第一ハ漁業權ヲ物權ト看做シマシテ、改正案中ニハ特ニ規定アルモノ、外ハ、土地ニ關スル規定ヲ漁業權ニ準用スルコト、致シマシタ、是が第二點デゴザイマス是ハ第八條乃至第十一條、第十

五條、第二十六條乃至第二十八條ニ涉シタ事柄デアリマス、此漁業權ハ現行法ニ依リマスルト云フト、先ツ相續、讓渡、貸附ト云フコトが出來ルコトニナッテ居リマス、ケレドモマダ普通ノ財產權ト違ヒマシテ之ヲ擔保ニ供スルト云フヤウナコトニナッテ居ナイノデゴザイマス、然ルニ是ハ從來漁業者ニ於キマシテモ、此漁業權ヲ擔保ニ供シテ金融ノ途ヲ圖リ、又漁業ノ資本ヲ得タイト云フ希望ガアリマスルニ拘ラズ、現行法ニ於キマシテ途ガ開ケテ居リマセヌカラシテ、漁業者ニ於キマシテハ甚ダシク不便ヲ感シテ居ルノデゴザイマス、且又此點ニ付キマシテハ、衆議院ニ於キマシテモ此抵當權ノ設置ニ付テノ希望ガゴザイマシタ、サウシテ此改正案マテモ御提出ニナシタコトモアルヤウナ次第ゴザイマス、故ニ今回ハ漁業權ト云フモノヲ抵當ニ致シマスルコトヲ認メマシテ、サウシテ此法規ノ適用上漁業權ヲ物權ト致シマシタ次第ゴザイマス、ソレデ抵當上ノ關係カラ致シマシテ、先ツ此土地ニ關スル規定ヲ準用スルト云フコトが抵當權又裁判管轄權其他ノ事項ニ付キマシテ、比較的便宜デアラウト云フ考ヲ持チマシテ此土地ニ關スル規定ヲ準用スルト云フコトニ致シタノデゴザイマス、尤モ悉ク土地ニ關スル規定ヲ準用スルト申シマシテモ、亦漁業權ハ是ハ特別ノ權利デゴザイマスカラ、尙ソレニ付テ不便ナルモノハ、即チ特別ニ第九條、第十條ト云フヤウナ例外ヲ設ケテ、其不便ヲ避ケタ次第ゴザイマス、ソレカラハ第三ハ水面使用ニ關スル權利義務ハ、漁業權ノ處分ト共ニ當然移轉ヲサセマシタ、是ハ第十二條ニ當ルトコロデゴザイマス、從來此漁業權ヲ繼承シマスル場合ニ於キマシテハ、水面使用ニ關スル權利義務ヲ常ニ當然繼承スルコトニナシテ居ナインゴザイマス、ソレハ新三漁業權ヲ行使スル者ハ、其都度々々ニ水面使用ノ許可ヲ申請シナケレバナラスト云フヤウナ煩雜ナル手續ヲ實ハ致シテ居ルノデゴザイマス、其煩雖ナル手續ヲ避ケルガタメニ、一旦漁業權ヲ設定致シマシタ上ハ、縱令其權利ヲ繼承シ、即チ移轉スル場合ニ於キマシテモ更ニ手續ヲ要セナイト云フコトニ致シマシタノガ、即チ第十二條ノ改正ノ趣意アゴザイマス、ソレカラ第四ハ行政官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ、漁業

ノ免許ヲ與フルニ際シマシテ、之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得ル規定ヲ置キマシタ、ソレハ第十二條ニ當ツテ居ルノデゴザイマス、是ハ漁業權ヲ免許致シマスルニ付テハ、シテ置ク方が宜カラウト云フ考デ、此二十一條ヲ設ケタノデゴザイマス、ソレカラ第五デゴザイマス、此漁業權ノ取消又ハ停止ハ特ニ重要ナル場合テナケレバ、之ヲ行ハヌト云フコトニ致シマシタ、ソレハ改正案ノ第一二十四條並ニ二十五條ニ當ルノデゴザイマス、是ハタカラシテ、特別ノ理由テ公益ニ關シマシテ、漁業權ガアルガタメニ、此公益ヲ害スルト云タリ、又ハ停止スルコトが出來ルヤウニナッテ居リマスガ、併ナガラ此改正案ニ於テハ、一度權利ヲ設定致シマシタ以上ハ、其權利ハドコマデモ尊重スルノガ當然デアラウト考ヘマシタカラシテ、現行法ニ於テハ漁業權ノ取消、停止ハ公益上ニ必要ナル場合ニ於テハ直ニ之ヲ取消シヤウナ場合ニ於テハ、是ハ已ムヲ得ズ漁業權ヲ取消シ、又ハ停止スルコトニ致シマシタ、云フコトニ致シマシタ、尤モ此第二十五條デゴザイマスガ、是ハ漁業權ヲ免許致ス場合ニ於テ錯誤ト云フコトガゴザイマス、是ハ實際ニ於テ免レヌコトデアリマスカラ、其時ニハ當然之ヲ取消スト云フコトニシタ次第ゴザイマス、ソレカラ第五ハデゴザイマス、是ハ他人ノ漁場ニ入漁スル事實ニ依リマシテ、入漁權ノ意義ヲ明カニシテ、其權利ニ關スル通常ノ規定ヲ置イタ次第テゴザイマスガ、ソレハ第七條、第十三條乃至第二十條ニ當ルトコロゴザイマス、此理由ハ從來他人ノ漁場ニ入込ミマシテ、サウシテ其本權者ト共ニ入會ヒマシテ漁業ヲナス場合ガ、實際ニ於テ隨分多イノデゴザイマス、所謂之ヲ入漁ト申シテ居リマス、其權利ハ相當ノ範圍ニ於テハ私權ノ目的トナルが從來ノ例トナッテ居ルノゴザイマス、此改正案ニ於テハ第七條ニ於テ其意義ヲ明カニシ、又十三條ニ於テハ私權ノ目的トナル範圍ヲ規定シタノデゴザイマス、サウシテ他ノ權利者トノ關係ニ就テハ、其範圍ヲ茲ニ定メタノデゴザイマス、ソレカラ第七デゴザイマス、是ハ登記ニ代ルベキ登録ノ制度ヲ規定致シマシテ、漁業ニ關スル權利ヲ確保スルト同時ニ其權利者ト第三者トノ關係ヲ定メタノデゴザイマス、ソレハ第二十六條ニ當ルノデアリマス、此登錄ノ制度ハ現在テモ是ハ行ツテ居ルノデゴザイマスガ、併シ是ハ命令テ規定ヲ致シテ居リマスカラシテ、其登録ノ制度ノ効力ナドニ就テモ、甚ダ不十分ナル點が多イノデゴザイマスカラシテ、此法案ニ登録ニ關スル規定ヲ設ケマシテ、其効力ヲ明カニシタ云フ考デゴザイマス、第八ハ漁業上重要ナル事項ノタメニ、他人ノ所有權ヲ制限シ得ル場合ヲ追加シテ、漁業ノ發達ヲ謀ルコト、致シマシタ、ソレハ第二十九條乃至三十二條ニ當ルノスカラシテ、此法案ニ登録ニ關スル規定ニナツテ居リマスルガ、極メテ是ハ範圍ガ狹クシテ不十分テアリマスカラシテ、ソレガタメニ往々漁業ノ免許ヲ致シマシテモ、其漁業ヲ十分ニ營ムコトガ出來ナイヤウナ場合ガゴザイマスルカラシテ、ソレ等ノ點ヲ救濟スルガタメニ、更ニ多クノ追加ヲ致シタ次第ゴザイマス、第九ハ漁業取締中從來不備ナリト認メタ點ガゴザイマシテ、ソレヲ補充シテ此漁業ヲ永遠ニ持續スルノ途ヲ講ジタ云フ趣意デゴザイマス、ソレハ

第三十四條及ビ三十八條ニ當ツテ居リマス、是ハ御承知ノ通リ汽船「トロール」漁業又ハ汽船捕鯨業ト云フヤウナモノガゴザイマシテ、是ハ近來ニ發達致シマシタ漁業デゴザイマスガ、此漁業ハ從來ノ漁業トハ餘程趣キヲ異ニシテ居リマシテ、其規模が餘程大キイ、從ツテシマシテ、或條件、或ハ制限ヲ附シテヤレバ其權利ヲ認メテモ宜イト云フ場合ガゴザイマスカラシテ、其時ニハ行政官廳ハ制限ナリ條件ナリ附スルコトが出來ルト云フコトヲ明カニシテ置ク方が宜カラウト云フ考デ、此二十一條ヲ設ケタノデゴザイマス、ソレカラ第五デゴザイマス、此漁業權ノ取消又ハ停止ハ特ニ重要ナル場合テナケレバ、之ヲ行ハヌト云フコトニ致シマシタ、ソレハ改正案ノ第一二十四條並ニ二十五條ニ當ルノデゴザイマス、是ハタカラシテ、特別ノ理由テ公益ニ關シマシテ、漁業權ガアルガタメニ、此公益ヲ害スルト云タリ、又ハ停止スルコトニ致シマシタ、ソレカラ第五ハデゴザイマス、又第十デゴザイマスガ、ソレハ漁業組合ノ目的ヲ擴張シテナラヌ必要モアリマスノテ、今迄ノトコロデハ其規定が無イガタメニ、省令ノ範圍内ニ於テ取締ヲ致シテ居リマシタガ、其取締ノ目的ヲ達スルタメニ今回ハ此法律三其取締ニ關スル規定ヲ設ケタノデゴザイマス、又第十一デゴザイマスガ、ソレハ漁業組合ト云フモノハ、漁業權ノ享有行使ト云フコトが法律ニ規定シテゴザイマシテ、其法律上カラ申シマスルト、他ノ事業ハ何等出來ナイカノヤウニ見エルノデアリマスケレドモ、此組合トシテ種々ナル施設ヲモ爲スコトが無論出來ル譯デ、現ニソレヲ致シテ居ルノデアリマスガ、併シ之ヲ法律上カラ申シマスレバ甚ダ不備ナコト、思ヒマス、且又漁業組合ハ漁業ノ發達上ニ於テハ最モ必要ナル機關デアリマスルカラシテ、是ノ爲スベキ目的範圍ト云フヤウナコトハ、之ヲ明カニシテ置ク方が漁業組合ヲ發達サセ、從ツテ漁村ノ維持、又ハ漁業ノ發展ヲ促スニ於テハ最モ必要ト考ヘマシテ、現行ノ極メテ簡單ナル規定ヲ改メマシテ、其趣意ヲ明カニシマスノデゴザイマス、第十一ハ法規ノ厲行ヲ期シマスクタメニ、適當ノ職務ヲ有スル吏員ニ漁業取締ノ權限ヲ與ヘテ、且罰則ニ訂正補充ヲ加ヘタ次第ゴザイマスガ、是ハ第四十一條、五十八條乃至六十四條ニ亘テ居ルノテ、是マテ漁業上ノ取締ト申シマシテハ先ヅ警察官ダケデ此取締ヲ致シテ居リマスルデゴザイマスルガ、ソレハドウモ今日マデノ實驗ニ據リマスルト、甚ダ物足リナイン次第テアリマス、故ニ今回ハ先ヅ海上ヲ巡邏致シマスヤウナ職務ヲ有シテ居リマス者ニ對シマシテハ、ヤハリ此取締ノ權限ヲ與ヘマシテ、サウシテ此漁業上ノ取締ノ勵行ヲ致シマシタラバ宜カラウト云フノテ、此四十一條ナドヲ加ヘタ次第ゴザイマス、ソレカラ第十二條ニナリマスガ、此現行法ニ於キマシテハ、専用漁業免許處分ト云フ即チ此慣行ニ據リマシタ漁業、其他ノ權利ニ付キマシテ出願シ且處分スルノ制デゴザイマスルガ、是ハ附則第六十八條乃至七十二條ニ當ルトコロデゴザイマスルガ、是ハ處分ハ明治三十八年カラ致シマシテ其處分ニ掛リマシテ、追々其事務ハ進捗ヲ致シマシテ今日ハ略、其結了ヲ告ゲントスルマデニナツテ居リマスルガ、併ナガラ是ハマダ悉ク完結スル譯ニ參リマセヌカラシテ、是ハ從來ノ規定通リニ依テ、總處分ノ未濟ノ分ハ現行ノ規定ニ據リマス、又ソレニ對スル救濟ノ方法モヤハリ現行法ト同ジコトニ依テ其途ヲ開キ置ク積リテ、即チ此附則ニ其條項ヲ掲ゲタ次第ゴザイマス、之ヲ要シマスルニ此改正案ノ大體ノ趣旨ガ、漁業權ヲ擔保ニ供シマシテ、漁業經營ノ便利ヲ謀リ、又漁業組合ノ業務ヲモ擴張致シマシテ、漁村ノ進歩ヲ促シ、又登錄ノ制度ヲ補充致シマシテ水族繁殖ノ方法ヲ爲スノ外ニ、現行法ノ實際ニ微シマシテ不備ト云フ點ヲ補充且訂正ヲ致シ、サウシテ漁業ヲ發達シ漁民ノ幸福ヲ増進シタ云フ趣旨ニ外ナラヌノデゴザイマス、大體右様ノ次第ゴザイマスルカラシテ、尙御質問ガゴザイ

マスレバ、ソレニ依ツテ御答申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(板東勘五郎君) 先づ大體ニ付テノ御質問ヲ先ニシャウト思ヒマス  
○細川義昌君 私ハ大體ニ付テ御尋致シタイト思ヒマスガ、此漁業界ニ於キマシテ最  
モヤカマシク申シマスルシ、又漁業者ニ取ツテ重大ナル關係ヲ有シテ居リマスルが故ニ、屢々  
是等ノコトニ付テハ漁業者間ニモ衝突ガ起リマシテ、紛議ト云フタラバ、必ず是ニ基クモ  
ノが多イ思ヒマス、ソレハ漁場竝ニ漁業ノ慣行ト云フコトアリマス、今日ハ慣行權ト  
云フテ宜シウゴザイマセウ、是ガ餘程ヤカマシイ問題デアル、サウシテ漁業法ヲ制定セラル  
ルニ方リマシテモ、此漁業權ト云フモノ常ニ認メラレテ居リマスル次第アリマスガ、此  
法案ニ據リマシテハ漁業慣行ニ據レルトコロノ漁業權ノ保護、又是ガ存續シテ往キマス  
ルニ付キマシテノ保護ト云フモノニ付テハ、何等新ラシイ規定ヲ設ケラレタモノガナイヤウ  
ニ思ハレル、ドウモ是等ノコトニ付テハ、私共ハ法律ヲ以テ保護シ取締ルト云フコトガ大  
切ナ事柄デアルト考ヘマス、是等ニ付テハ別ニ制定スルノ必要ハ御認メニナッテ居ラヌコ  
トデアリマセウカ、第一ニ之ヲ御尋致シマス、ソレカラモウ一ツハ、從來設ケラレテゴザイマ  
スルトコロノ、所謂現行法、現行法ニ於キマシテ水面專用漁業權ト云フモノハ二様ニ  
分レテ居ツテ、一ツハ地先水面專用漁業權、一ツハ慣行ニ據レル水面專用漁業權、斯様ニ  
分シテ水面專用漁業權ト云フモノヲ與ヘルコトニナッテ居ル、サウシテ其地先水面專用漁  
業ト云フコトニ付キマシテハ、法律ニ行政官廳ハ種類ヲ限定シテ免許ヲ與フルコトヲ得  
ト書イテアリマシテ、又現行法第五條ニ書イテアルトコロノモノアル、一般ノ廣イトコロノ漁  
業ト云フモノヲ與ヘル譯ニイカナイ、與ヘル譯ニイカナイカラ 限定セラレル 譯デアルカト云フコトヲ、法律  
制定ノ時分ニ御尋子致シマシテ、政府が辯明セラレテ居ルトコロノモノハ、是ハ根付、磯  
ト云ヘバ、海草ヲ採ルトカ、若クハ鷦鷯ナリ、烏賊ナリ、建網即チ磯建網ト云フヤウナモノニ  
限シテ免許ヲ與ヘル、斯ウニ云フコトアリマシタ、成程法律ノ文章カラ申シマシテモサウデ  
アラウト思ヒマスル、是ハ慣行ニ據レル分ニハ區域ヲ定ムテ免許ヲ與ヘルト云フコトガ殊更  
ニ書イテアルケレドモ、此地先水面專用ヲ與ヘルニ付テハ、法律ニ區域ヲ定ムト云フコトガ  
ナイ、只政府が種類ヲ限定シテ免許ヲ與ヘルト云フコトニナッテ居ル、其區域ト云フモノ  
ハ何等他ニ關係ハナインデアル、政府ノ説明ノ如ク磯草ヲ採ルトカ、或ハ磯建網ヲスルト  
云フモノデアルナラバ、決シテ區域ト云フモノナドニ重キヲ置クコトハナイカラ、法律ノ方ニ區  
域ト云フコトハ這入ツテ居ナイ、又慣行漁業權ノ方ニナリマスルト慣行ニ依シテ漁業ノ種  
類ト區域ヲ定メテ免許ヲ與ヘルト斯ウニ云フ規定ニナッテ居ル、段々官報等ニ依ツテ免許ヲ與ヘルタコ  
ロノ種類ヲ見マシテモ、大分廣ク之ヲ與ヘラレテ居ル、是ハドウ云フ次第アリマセウカ御  
法律ヲ實施セラル、ニ當テ、如何ニ成行クカト云フコトヲ見マスルト、ドウモ此政府ノ言明  
セラレタトコロノ根付、磯付漁業ニ限ラレテ居ラナイ、他ノ漁業ニモ段々廣クシテ免許ヲ  
與ヘラレテ居ルデアル、事實ガサウナツテ居ル、段々官報等ニ依ツテ免許ヲ與ヘラレタトコ  
開キ申シタイノアリマス、ツマリ政府ハ法律ヲ制定スルニ當ツテ、斯ウニ云フ譯デアルト云  
フ法律ノ精神ヲ説明セラレタモノガ、施行上ニ至シテ違フト云フコトニナルト甚ダ政府ノ

説明ト云フモノハ一向譯ノ分ラヌモノニナルダウ思ヒマス、モウ一ツ御尋致シマスコトハ、  
今ノ慣行ニ據ル第五條ノ一項ニゴザイマスルトコロノ、慣行ニ依ツテ免許ヲ與ヘル事柄デ  
アリマスガ、慣行ニ依テ免許ヲ願出ヅル者ニ對シテ、區域及ビ漁業ノ種類ト云フモノハ、  
慣行ニ依ツテ定ムルト云フコトニナツテ居リマス、然ルニ之ヲ實地御施行ニナルニ當ツテハ、  
ドウモ往々ニシテ慣行ヲ又制限フシテ、殆ど地先水面ニ現ニ行ハレテ實施セラレテ居ルヤ  
ウナ譯ニ、區域ヲ限定サレテ居ルモノガアルコト往々ニ承リマス、テ聞クトコロニ據レバ、  
リマスガ、果シテ政府ハドウ云フ御扱ヒニナツテ居リマスカ、其事實カラ承リタイノデゴザイ  
ガ、陸岸ヨリ何百間ヲ以テ區域ト定ムルト云フが如キ、豫メサウ云フヤウナ内規ヲ設ケ  
テ、ソレニ據ラヌモノハ始終區域ヲ取ツテ除ケラレタ、斯ウ云フヤウナコトガアルト承ツテ居  
リマスガ、舊法ノ通リニ據ルト云フ御説明デゴザイマシタガ、此當初法律ヲ制定サ  
マス、ソレカラ舊法ノ第三條ニ定置漁業ノコトが規定サレテアリマスルカ、此唯今モ政府  
委員ノ御説明ニ、慣行ノアルモノハヤハリ慣行ノヤウニ慣行ニ通リニ據ル、是マデ仕來リ  
ノ通リニヤルト舊法ノ通リニ據ルト云フ御説明デゴザイマシタガ、此當初法律ヲ制定サ  
レルニ當ツテハ、慣行ハ慣行ノ通リニ據ルコトハ、幾度モ政府ハ言明セラレテ居ルトコロ  
ノモノデアルニモ拘ラズ、此第二條ニ據ルトコロノ慣行ニ依ツテ出願ヲ致シマスルトコロ  
ノ定置漁業デアリマスガ、此定置漁業ニ付テハ全ク慣行ヲ破棄シテシマツテ、免許ヲ  
與ヘルトコロノ區域ハ網ヲ敷設スル、即チ網ヲ敷ク場所ニ限ツテ免許ヲ與ヘテ居ル、慣  
行ノ通リデハナイ、慣行ハ大分廣い區域ニ依テ制限フシテ、既ニ賣買モシテ居レハ相續  
モシテ居ル、或ハ其漁場ヲ娘ニ附ケテ嫁入ヲセルトカ、或ハ分家ヲスル時ニハ第二ヤルト  
カ云フコトデアル、然ルニ唯網ヲ敷イテアル場處ダケソレダケシカ免許ヲ與ヘテ居ナインハ、  
此慣行ヲ破ツテ居ルデハナイカ、果シテ慣行ヲ破ツテ居ルトスルナラバ、政府ノ言明シタ  
コロノモノトハ大變ナ相違デアル、是ハ私ガ承ルトコロニ依レバ、二條ノ定置漁業ハ、慣  
行ノ區域ニ依ツテ免許ヲ與ヘル部分ニナツテ居ナイ、慣行ノ區域ニ依テ免許ヲ與ヘルト云  
フノハソレハ水面專用ニ限ラレテ居ルノデアル、定置漁業ノ如キモノニハ用井ル必要ハナ  
イ、政府ハ之ヲ慣行ニ依テ免許ヲ與ヘルト云フコトハシナクテモ宜シイト、斯ウ云フコトヲ  
當局者ヨリモ説明ヲ承シテ居リマス、併シ慣行ハ慣行ノ通リニ許スト二云フノデアルカラシ  
テ、ドウモ慣行ヲ破ルト云フコトハ政府ノ言明シタコロノモノト大ニ相違スル次第デアル  
ト私ハ考ヘル、ソレテ此法律勅令ノ精神ノアルトコロノモノハ、附則ノ第二十四條ヲ御  
覽ニナリマシタナラバ、定置漁業デアレ又ハ水面專用ノ漁業デアレ、慣行ニ據ツテ來テ居  
ルモノハ、其慣行ト云フモノヲ認メテ之ニ免許ヲ與ヘテヤル、斯ウ云フ精神ガ明カニナツテ  
居ルト思ヒマス、此事實ニ付テ御答ヲ煩シタウゴザイマス、御参考ニ尙申上ゲテ  
テ置キタウゴザイマスガ、私ノ承シタトコロニ據ルト云フト、斯ウ云フコトガアタツト云フコト  
ヲ承知シテ居リマス、此漁場免許出願ニ對シテ調査ヲセラル、ニ當ツテ、水產局ハ水產  
ノ技師即チ魚ヲ採リ製造ヲスルト云フヤウナ學問ヲセラレタコロノ技師ヲ、四方ニ御派  
遣ニナツテ御取調ヲ御命シニナツタ、ドウモ此人々ハ法律トカ云フヤウナモノニ對シテハ、明  
ルクナイカフ、夫レ故ニドウモ往々ヤリ損ナイガアッタ、テ或ル尊キ方カラ私ハ承ツタノニアレ  
ハヤリ損ナイガアッタト云フコトヲ申サレタコトモ承知シテ居リマス、ソレデ各方面ニ當テ漁  
業ノ專用漁業ノ調査ヲ致シマシテ、免許ノ取扱ヒラサレルトキニ當ツテ、或ル方面ハ行ツ

タ者ハ所謂法律ノ精神ノアルトコロニ據り、法律ノ明文ノ在ルトコロニ從ツテ取扱ヲシテ來タガ、中ニハ約リ慣行ト云フモノヲ甚ダ漁業ニ防害ガアル、水產ノ發達ヲ害スルト云フヤウナ頭ヲ持ツテ居テ、成ベク其慣行權ト云フモノヲ與ヘトモナイト云フヤウナトコロカラ、無智文盲ナル漁民ニ接シテ、ドウモ慣行デモ出願スルノハ甚ダ不利益アル、地先水面ニシテ願出ナケレバナラヌト云フコトヲ頻リニ説明スル、文盲ノ漁民ニアリマスカラ或ハ叱ラレ、或ハサウ云フヤウニ説明セラレルト、サウテモアラウカト物ヲモヨウ言ハズシテ、一方專用ノ出願ヲ——慣行ニ據ル出願ヲシテ居ツタ者モ之ヲ取返ヘシテ地先水面ニ直スサウシテソレガ水產局ノ方ヘ、段々諸方取調ニ行ツテ居ッテ方々が歸ツテ來テ打合ヲシテ見ルト、大變ソレハ行カナイ話ダト云フコトニナツテ驚カレタ、併ナカラ驚イテモウ取返シハ着カナクナツテシマツタ、何故カト言ハバ出願權ハ失シテシマツタ、モウ出願ノ取直シヲスルコトハ出來ナイ、仕方がナイカラ是非地先水面ト云フモノニ對シテモ慣行水面デ免許ヲ與ヘルが如ク、廣ク漁業權ノ免許ヲ與フルヤウニシナケレバ致様ガナイ、斯ウ云フトコロカラ云ハ其人ノ失策アル、其失策ノタメニ根付、磯付ニ限ツテ免許ヲ與ヘルト云フ、斯ウ云フモノハ廣ク與ヘナケレバナラヌト云フコトヲ仄ニ承ツタ、果シテサウ云フ事實ガアリマセウカ、是ハドウモアルマジキコトヤト思ヒマスガ、承ツテ居リマスカラ御尋致シマス。

○政府委員(道家齊君) 唯今細川君カラノ慣行ニ付テノ御尋デアリマスガ、第一今度ノ改正ニ就キマシテ、慣行ニ依ルトコロノ漁業權ハ、保護シテ居ルカドウカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ改正法ニ於キマシテハ先刻モ申シマシタ通リニ、慣行ニ依ル漁業ト云フモノニ對シテハ、現行ノ規定ニ據ルト云フコトニ附則ニ定メテ居リマスカラシテ、假令此法律ヲ改正致シマシテモ其慣行ニ於ケルモノニ就テハ、現行法ト少シモ變フナインデアリマス、ト申シマスノハ前ニモ申シマシタ通リマダ處分ノ濟マナイモノモゴザイマスカラシテ、其處分ヲスルニ當リマシテハ現行法ニ依リ、又其レニ對スル救濟ニ就キマシテモ現行法ニ依テハリ救濟スルト云フコトデアリマスカラシテ、慣行ノ分ニ就テハ現行法ト少シモ此法律ノ改正ニ伴シテ變更ヲ來シテ居ナインデアリマス、ソレカラ他ノ凡テノ御尋ノ事柄ハツマリ現行法ノ第三條若ハ第五條ノ解釋ノ事柄、又今ノ處分ニ就テノ御尋ノヤウニ考ヘマス、是ハ第五條ノ第一項ニゴザイマス通りニ、漁業ノ種類ヲ限定シテ地先水面專用ニ就テハ免許ヲ與ヘルコトが出來ルガ……

○細川義昌君 法律ノ解釋デハナイ、政府委員ガ言明サレタトコロハドチラガドウカト云フコトヲ御尋シタノデス、慣行ニ依テ居ルノハ其分カト云フ御尋ヲシタノデス、法律ノ解釋論デハナイ

○政府委員(道家齊君) ソレハ慣行ニ依テ——專用漁業ノ免許處分ハ慣行ノアルモノハ慣行ニ依テスル、ソレカラ地先水面ニ依ルモノハ地先水面ノ規定ニ依テ免許ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居リマス、ソマリ慣行ニ依ル漁業ニシマシテモ、其區域若クハ漁業ノ種類ト云フモノハ、果シテ其レガ慣行トシテアルカドウカト云フコトヲ調ベテ、其慣行ガ有ルト云フ事實ガ確カナリ、若クハ證據書類ガアルナリ致シマスルモノハ、今日マデノ處分ト致シマシテ凡テ免許ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、唯一面出願者ノ方カラ申シマスレバ、ソ往々ニシテ慣行ニ依ル處分ニ當ツテモ、凡テ證據書類トカ——證據書類ハ無論、漁業上ニ

於テハ乞イカラ、ソレハ實地ニ就テ凡テ慣行ガ果シテ出願者ノ言フ通リニ有ルカ無イカト云フコトヲ慎重ニ調査シテ、サウシテ許否ヲ決シテ居ルノデアリマス、ソレデ成程出願者ノ方カラ申シマスレバ、是モ慣行、是モ慣行ト云ツテ隨分調べテ見マスト慣行ナド、云フモノハ殆ド無イ、若ハ法律が出て來テ慣行ト云フコトナラ斯ウ云フ權利ヲ得ラレルト云フヤウナモノガアルト云フコトデ、慣行トモ見ラレヌヤウナモノ往々慣行ト稱シテ居ルノデアリマスカラ、夫等ヲ總テ許スト云フコトニナレバ、何モ慣行デモナイモノヲ許スト云フコトニモナリマスシ、又慣行ト云フモノガ漁民ノ言フ通リデアルナラバ、第五條ニ掲ゲタ通り何モ區域或ハ漁業ノ種類ヲ定メテ免許ヲスル必要ハナイ、唯慣行々ト云ヘバ皆許スト云フコトニ結局陷ル、ソレハ第五條ノ法律ノ精神デハナイト思ヒマス、慣行ト云フ事實ガ果シテ確カナルモノニ此權利ヲ與ヘル、而モ此權利ト云フモノハ隨分他人ノ漁業ヲ排斥シテ行クタケノ餘程重要ナル權利ヲ與ヘルノデアリマスカラ、其事實ガ果シテ慣行有ルヤ否ヤト云フコトハ能ク調べル必要ガアラウト思フノデ、ソコデ十分調べテ見マスト、今申シマシタ通リニ、中ニハ慣行デナイヤウナモノガ隨分アルノデアリマスカラ、ソレニ依テ慣行ノ確カナルモノニ付テ免許ヲ與ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレデ水產局ニ於キマシテモ、何モ慣行ト云フモノガ事實有ルナラバテス、其事實ヲ打破シテ此權利ヲ與ヘヌガ宜イト云フ考ハ毛頭ナイ、之ヲ與ヘヌカラト云ウテ何モ利益ハナイ、ツマリ與ヘルカ與ヘヌカト云フコトハ、是ハ第三者トノ關係ガアルノデス、若シ權利ノナイ者ニ其重大ナル權利ヲ與ヘタナラバ、他ノ漁民ガ大變ナ障害ヲ受ケル、故ニ此處分ヲスルニ當リマシテハ、當局ニ於テハ實ハ與ヘヤウガ與ヘマイガ直接ノ利害關係ハナイ、此權利ヲ與ヘルカ與ヘヌカト云フコトハ、即チ他ノ漁民ノ利害關係ニ重大ナル影響ヲ及ボシマスカラ、此事實ト云フモノヲ能ク調べテ與ヘケレバナラヌト云フノデ、即チ第五條ハ其精神ニ依テ出來テ居ルノデアリマス、兔ニ角斯ウ云フ種類ノモノハ慣行ガアツテモ、ソレハ許サヌト云フヤウナ内規ト云フモノガゴザイマセヌ、ソレハ慣行ノ有無ニ依シテ判定スルノデアリマスカラ、一面ニ於テハ或漁業ノ種類デ許サヌモノモ他ノ地方ニ於テハ現實ニ許シテ居ル、ソレハ何カト云ヘバ唯今申シマシタ通リニ、慣行ノ確カナルモノナラバ種類ノ如何ヲ問ハズ許シテ居ル、此區域ガ廣イカ廣クナイカモソレハ慣行ノ存在如何ニ依シテ定メテ居ルノデアリマス、ソレデ慣行ノ區域ガ判然シタモノヲ打破スルトカ、或ハソレヲ與ヘナイヤウニシテ居ルト云フヤウナコトハ、ソレハ決シテ無イノデゴザイマス、ソレハ是マデ處分シタコロノ事業ヲ能ク御覽下サレバ、其趣意ハ明瞭テアラウト考ヘマス、大體……

○齊藤一郎君 私モ今細川君が御尋ニナツタコトニ就テ質問シタイト思ヒマス、ソレハ漁業權保護ノ程度及其範圍ニス、今水產局長ノ言ハレタコトハ、實地ニ於テ違ツタコトがゴザイマス、實ハ大體ノ御説明トシテ第一カラ第十二一マデ今度ノ法律案ノ効能書ヲ聞カサレマシタガ、一向感服シナシ、今ノ慣行問題デアリマスガ、政府ノ言フトコロデハ此慣行ハ非常ニ慎重ナル、調查ヲ遂ゲテ許シテ居ル此許シテ居ル側カラ御覽ニナレバ、ソレモ一ツノ農商務省ノ効能書ニナリヤウガ、許サレタタメニ害ヲ受ケテ漁業者ニ取ツテハ非常ナ迷惑ヲスル、ソレデ保護ノ程度及範圍ヲ質問スルノ必要ガ起ルノデス、現ニ實例ヲ舉ゲレバ農商務省ガ入漁權ヲ全ク慣行ノ無イモノニ向シテ許シタ實例ガアル、ソコテ多クノ村ヲ相手ニ取ツテ行政訴訟ヲ起シタ、農商務省ガ是ニ對シテドウ答ヘルカト云

ヘバ、大臣代理者ハ入漁權ハ現行法ニ於テ保護シテ居ラヌカラ、行政訴訟ヲ起スノ權利ガナイト防訴抗辯ヲシテ居ル、所が此第七十二條ニ據ルト「訴願又ハ行政訴訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル」トシテアルサウスルト此法案ヲ極メラレル農商務省ニ於テ斯ウ云フ入漁權ノ出願ニ對シテ、誤テ許シタ場合ニハ救濟スル方法ガナイ、誤ツデ許シタモノハメチャヤハニサレテ居ル、殊ニ現行法ノ第六條ノ第二項ノ規定ヲ御覽ヲ願フト云フト今言フ通り農商務省ガ許シタカラト云ツテ損害ハ無イト言ハレルガ、ソシナコトハ施行法ノ第八條ニ「前條」外水產動植物ノ繁殖保護其ノ他公益ニ害アリト認ムル漁業云々トアル、是ハ即チ權利モ何モ無イモノニ向ツテ入漁業ヲ許サレテ、害ヲ受ケルカラ取消サレタイト云フコトガ起ツテ來ルノソレニ付テハ農商務省ハ何故ニ斯ンナ七十二條ノ如キ簡単ナモノデナクシテ、十分訴願ヲ許シ又行政訴訟ヲ許ス規定ヲシナイデアラウカ、是ガ一ツ、又漁業權ノ入漁權ニ付テハ非常ニ尊重スルト言ハレルノニ、其規定ノ無イノハドウ云フ趣意アルカ、農商務省ハ其命令或ハ制限ヲ附スルトコロノ絕對ノ權利ヲ保有シテ居ルカ、此不法ノモノニ許シタ場合ニ何ニ據テ吾々農商務省ガ保護スルノデアルカ、ソレガ一ツ、第一ハ今度ノ法案ニ於テハ入漁料ヲ徵收スルコトヲ原則トシテ居ルガ、是迄拂ツタ入漁料ニ付テハ、政府ハドウ云フ處置ヲスルカ、尙條件若クハ制限ト云フ言葉ガ法文ノ中ニ書イテアリマスガ、何處ニ此區別ガアリマスカ、此ニツツ同ツテ置キタイ

○政府委員(道家齊君) 唯今第一ノ御尋ハ入漁權ノ範圍、免許ト云フコトデゴザイマシタカ……

○齊藤一郎君 保護ノ程度及範圍デス

○政府委員(道家齊君) 此入漁權ハ現行法ニ於キマシテハ、是ハ施行細則デ入漁權ト云フモノヲ認メテ居ルノデアリマス、ソレデ此入漁權ハ無論此從來ノ慣行ニ據ル入漁權モゴザイマスルシ、又契約ニ依ツテヤルトコロノ入漁權モアルノデアリマス、ソコデ是迄ハ此法律ニ於テ入漁ト云フコトヲ認メテ居ラナカッタノデアリマス、ソコデ今度ハ實際入漁ト云フモノハ本權ニ次イデ餘程重要ナル權利デアリマシテ、而モ此場合ハ餘程多イノデアリマス、夫故ニ此法律ニ於キマシテハ入漁ト云フモノヲ此處ニ掲ゲテ、サウシテカリ此相續讓渡スルコトが出來ルト云フコト明ニ示シタ譯ナシテス、ソレカラ入漁權ニ付テハ救濟ハドウカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、此改正案ニ於テ總テ此權利ヲ——入漁權者ニシテモ權利ヲ侵害サレタモノハ、ソレハ……

○齊藤一郎君 私ノ質問ノ趣旨が分ラヌト因ルカラモウ一應繰返シテ置キタイ、ソマリ入漁權ニ付テ争が起ツタ場合ニ救濟スル方法ガナイノデスナ、農商務省デハ防訴抗辯ス、ソル現ニ實例ガアルソレラシテ保護スルカ

○政府委員(道家齊君) 現行法ニ依リマスト入漁權ト云フモノハ、唯今申上ゲマス通リ法律ノ上ニ規定ガアリマセヌ、夫故ニ免許ト云フモノハ、中ニ入ツテ居ラヌノデス、ソラ、御承知ノ如ク入漁ト云フモノハ免許ト云フ部分ニ入ツテ居ラヌノデス、免許ト云ヘバ漁業權ニ限ルコトニ現行法ハナツテ居ルノデス、夫故ニ唯今御話ノモノハ即チ此現行法

○細川義昌君 私ノ御尋ネシタ箇條ニ付テ御答ガナイカラ更ニ御尋シタイ、第三條ニ定置漁業ヲ許スコトニナツテ居リマスガ、其定置漁業ノ免許ヲ與ヘルニ當ツテ慣行アルモノヲ慣行ヲ破ツテ網ヲ敷設スル區域ダケシカ免許ヲ與ヘヌト云フノハドウ云フ譯ニアリマスカ、政府ハ慣行ハ慣行ノ通リヤルト言明サレタコト、違フカドウデアルカト云フコトガ一ツ、ソレカラ其次ハ慣行ノ専用漁業ニ對シテ免許ヲ與ヘラレル際ニ、内規トシテ何百間ト云フコトヲ定メラレテ、ソレニ據テヤルト云フコトニ定メラレテアツタト思ヒマスガ、果シテ左様ナコトガアツタカドウカ、御話ノ如ク慣行ハ實地ヲ調ベテ慣行ノ通リニヤルト云フナラバ、豫メ何百間トカ何トカ云フ規定ヲ設ケラレル管ハナインデアル、私ノ聞グトコロニ依レバ、間數ヲ定メテ地曳漁業ハ何百間、何漁業ハ何百間ト豫メ定メテ置イテ、ソレニ據ラシムルト云フコトニ御取計ニナツタノデハナイカ、ソレハドウデアルカト云フコトガ一ツ、其次ハ實地ノ取調ニ行キマシタキニ、出張員イロハニ餘計ナコトヲ言ツテ出願期限ヲ是ガタメニ切ラシテ豫メ慣行専用ノ出願ヲシタ者ニ地先水面専用ノ出願ニ直サセル、ソレハ甚ダ不當ト思フケレモ、最早出願期限ガ切レタカラシテドウモ再ビ出願サセルト云フ譯ニ往カヌカラ、地先水面専用漁業ノ、政府ノ豫テ説明シテアツタヨリ範圍ヲ廣クシテ、免許ヲ與ヘナケレバナラスト云フコトニナツテ、サウ云フヤウニ取扱ヲセラレタト云フコトヲ聞イテ居ルガ、果シテ左様デアルカドウデアルカ、是ハ最モ大切ノ事デアルト思ヒマス、法案ヲ制定スルニ立法者が其精神ヲ説明スルニ當ツテ、後日ニ至ツテソレガ、何デモナカツタト云ウテハ大變ノ事デアリマス、全ク政府ノ説明ト云フモノハ信用が出來ヌト云フコトニナル、サウ云フモノハアルマイカト思フカラ、大體ノ必要カラ御尋ヲ致スノデアリマス

○政府委員(道家齊君) 第一ノ御尋ハ第二條ノ定置漁業ノコトデアリマスガ、第三條ハ規定ノ通リニ定置漁業ノコトヲ規定ヲ致シタノデアリマスカラ、水面専用ノコトニ付テノ慣行ニ依ルトコロノ漁業ノ許否ノコトハ第五條ニ規定シテアル、ソレデアリマスカラ定置漁業ノ方デゴザイマスレバ、定置漁業ト云フ方デ必要ナル區域ヲ極メテ與ヘルコトニナツテ居ル、第五條ノ方ハ水面専用ト云フ方デ慣行ノ有無、若クハ地先水面ト云フ方ヲ第五條ニ依テ許ス許サヌト云フコトニスルト云フコトニナツテ居ル

○細川義昌君 サウデナイ、簡單ニ申シマス、法律制定ノ時ニ當ツテ慣行アルモノハ慣行ノ通リニヤルト言フニ拘ラズ、第三條ノ定置漁業ニ付テハ慣行ノ通リ御ヤリニナラヌノハドウ云フモノデスカト云フ質問デアリマス、法律ノ解釋アハナイ

○政府委員(道家齊君) 第三條ノ定置漁業ノコトニ關シテハ、慣行ト云フコトハ書イテナイ、……免許漁業ハ、定置漁業、區劃漁業、特別漁業、專用漁業ト云フコトニナツテ居ル、定置漁業ノ方デハ第三條ニ依ツテ處分スルノデ、第五條ニ依アノ慣行ト云フ處規則ニ間違ツタ事ヲシテ居ラヌカドウデアルカ、初メニ言明サレルトキニ定置漁業ハ此限

リニアラズト言ハレタナラバ、宜イガサウデナイ、慣行ノ通りヤルト云フ明言ヲセラレテ居テ、免許ヲ與フルニ當ツテ、イロ／＼規則ヲ摺ヘテ言ツタコト、違フコトヲナサルハドウ云フモノデスト云フ御尋デアリマス

○政府委員(道家齊君) 定置ノ方ニ付テ慣行ガアル、其慣行ヲ打破シテヤツテ居ルノガアル慣行ガアレバソレヲ處分スルニ何故サウシナイカト云フ御尋デアリマスカ

○細川義昌君 左様デス

○政府委員(道家齊君) ワレハ元ヘ戻リマスガ、第三條ノ定置漁業ノ方デハ第五條ノ慣行ハ見ナイ、又内規ガアルカニカ、五百間トカ何間トカ、間數ヲ極メテ處分シテ居ルデナイカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ先刻カラ御答辯ヲ致シタ積リデアルガ、サウ云フ内規ハゴザイマセヌ、事實ノ上ニ於テ決定ヲ致シテ居リマスカラ、豫メドウ云フモノヲドウスルト云、フコトヲ極メタ内規ハゴザイマセヌ、從ツテサウ云フ處分フシテ居リマセヌ、ソレカラ出願期限ガ實際調査ニ出タ者ガイロ／＼反対ヲシタ結果トシテ、出願期限ガ後レタトカ、其爲メニ權利ヲ失フ者ガナイカト云フ御尋デアリマスガ、ワレハ實地調査ニ出マシタ者ノタメニ、出願期限ガ遷延スルトカ、是デ期限ガ後レタト云フ事實ハナイト信ジマス、入漁料徵收ノコトハ是ハ入漁ノコトハ契約ニ依ルノモアリ、所謂慣行ニ依リマスノモアルカラ、入漁ノ登録申請ノ際ニ入漁料徵收ノコトモ書イテアレバ無論認メテ居ルノデアリマス、從來慣行ニ依テ入漁料ノ徵收シテ居ルコトが確實ノモノデアリ、又新ニ契約シタモノモアリ、孰レモ本權者ト連署シテ申請ヲスルノデアリマスカラ、其入漁料ノ徵收ヲ拒ムト云フコトハナイ、皆認メテ居ルノデアリマス、又制限若クハ條件ト云フコトハソレハ見方ニ依テ制限トモ條件トモナルト思ヒマス

○委員長(板東勘五郎君) 高木君ノ御質問ハ長イヤウデスカラ 次回ノ初ニ質問ニナルト云フコトヲ保留シテ、今日ハ是デ散會致シマス

午後零時十分散會